



# 「教材開発とその評価」

「教材開発は、どのように進めるのだろうか？」

「開発した教材の学習効果を、いつどのように測ったらよいのだろうか・・・？」

「教材開発ってどうやって進めるの？」「評価はどうしたら？」「研究にできるの？」というような素朴な疑問をお持ちの方を対象に、基本的な知識を整理することを目的としたワークショップです。具体的な事例や研究論文を用いた講義やグループワークを通して、教材開発研究のための基礎知識を学びます。

**日時と内容** : 2008 年 10 月 18 日 (土) 10 : 00 ~ 17 : 30

10:00-10:10	開会
10:10-11:00	グループワーク 「ウォーミングアップ：教材を作る前に」
11:00-12:00	講義 「教材開発の手順について確認する」
( 昼食 )	
13:00-14:00	講義 「教材開発を学術研究にするために必要なことを整理する」
14:00-15:00	グループワーク
( 休憩 )	
15:15-16:15	講義 「開発した教材を評価するための具体的な方法について知る」
16:15-17:15	グループワーク
17:15-17:30	閉会

**会場** : 言語文化研究所附属東京日本語学校 〒150-0036 東京都渋谷区南平台町 16 号 26 番

**定員** : 40 名

**受講料** : 一般 5000 円、会員 4000 円、学生 3000 円 払い込まれた受講料はお返しいたしません。

**使用教材/事前課題** : 『国際交流基金 日本語教授法シリーズ 14 教材開発』ひつじ書房 (定価 800 円+税) をあらかじめご用意いただき、当日ご持参ください。また、事前課題として、当日までに、教材開発研究論文を一つ読んできていただく予定です。

**講師** : 北村智 (東京大学大学院情報学環 ベネッセ先端教育技術学講座 特任助教)

島田徳子 (国際交流基金日本語国際センター 専任講師)

**対象** : 日本語教育に携わっている方



## 社団法人日本語教育学会 2008 年度日本語教師研修コース

**問い合わせと申込み**：社団法人日本語教育学会 <http://wwwsoc.nii.ac.jp/nkg/menu-kenshu.htm>

TEL：03-3262-4291 FAX：03-5216-7552 Eメール：kyoshikenshu@nkg.or.jp

上記サイトから参加申込書をダウンロードして、Eメール、FAX、郵便のいずれかの方法で日本語教育学会事務局まで送付してください。Eメールの場合、タイトルを「教材開発と評価研修応募」としてください。

**[参加申込書ダウンロード](#)** こちらをクリックしてください。

応募書類は返却いたしません。また、この募集に関して集めた個人情報は本研修の実施以外の目的には使用いたしません。

**締切り：9月18日(木)** ただし、定員になり次第、締切り日以前でも募集を終了します。